

# 東京病院ニュース

## 第43号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

## 10月号に寄せて

国立病院機構東京病院院長 大田 健

猛暑、あるいは酷暑ともいべき厳しい夏が過ぎやっとな秋の気配が感じられると思った頃、今度は台風18号という強大な台風が日本列島を直撃しました。

東京病院では、太さ1メートルの古木が強風により倒されました。関東地方を含めて竜巻や豪雨による被害も発生し、これまでとは明らかに気候が変化していることを実感する今日この頃です。被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。

ところで、東京病院の自然に目を向けると、暑さに負けることなく咲いている百日紅の赤い花が患者さんとスタッフの目を楽しませてくれています。またオレンジ色の彼岸花も秋を告げるようにしっかりと咲いています。

今年の10月は、当院にとって歴史的な月になる予定です。10月1日から新しい電子カルテシステムが導入され、しっかりと当院の目指す高いレベルの医療を支え、さらに充実した診療の実行と一層円滑な診療体制の確立を可能にしてくれるのです。この日を迎えるために、渡辺 IT 推進部長を先頭に、スタッフ全員が講習会とりハーサルに休日返上で取り組んできました。新しい電子カルテシステムへの移行が支障なく行われるよう全力を挙げて取り組む所存です。

7月より地域医療連携についての見直しを廣瀬地域医療連携部長と益田室長を中心に行い、連携医の先生を訪問して当院の現状と動向をお伝えするとともに当院に対する要望や意見を伺うことを実行しました。8月末までに100人の先生のところを訪問することができ、大変有意義な意見をいただくことが出来ました。地域医療連携活動の一層の充実を図るべく計画を立て、連携医の諸先生の協力を得て今後順次実行したいと考えております。

その他の近況ですが、呼吸器センターでは、内科は田村呼吸器センター長と廣瀬地域医療連携部長を中心に、外科は深見医長を中心に、肺癌の診療実績を順調に上げており、肺癌の特定領域がん診療病院として認可されることを目指しています。喘息・アレルギーセンターでは、地域の喘息診療に積極的に貢献する



ために難治性喘息外来を開設しました。消化器センターでは、内科は上司医長と田中内視鏡室長を中心に、そして外科は元吉病棟診療部長を中心に、外科と内科の円滑な連携のもとに消化器領域全般にわたって充実した診療をしております。総合診療センターでは、循環器内科が青木医長(総合診療センター長)を中心に安定し、糖尿病外来は、これまでの滝澤医師に加えて西埼玉病院の伊藤医師にもお願いし、週2回の外来枠を設けることができました。リハビリテーション科は新藤医長を中心に回復期病棟としての機能を発揮しはじめ、眼科は山田医長が白内障手術で実力を発揮し、耳鼻咽喉科の田中医長、泌尿器科の山中医長、整形外科の堀医長もしっかりと専門領域を充実させております。

東京病院は、病診連携を一層推進して、地域の中核病院に相応しい内容の医療を提供することを心掛け、スタッフ全員で努力して参ります。「自分や自分の家族がかかりたい病院」を念頭に、スタッフ全員がそれぞれの職責をしっかりと果たせる職場として、引き続き運営したいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

平成 25 年秋

## 新任医師紹介

呼吸器外科医師 此枝 千尋



7月から勤務しています。大学の実習中に見学した呼吸器外科の手術に魅かれて進路を決め、大学卒業後、初期研修と一般外科修練を経て東大呼吸器外科に正式入局しました。その後は1年半の臨床の後、大学院生としての研究生活に入り、こちらに勤務するまでの約2年半は実験の日々でした。久々に臨床に戻り呼吸器外科医という仕事がやりがいのある充実したものだという事を再認識しています。常に探求心と向上心を持って働きたいと思えます。よろしく願い致します。

リハビリテーション科医師 荒尾 敏弘



8月より再び勤務させて頂くことになりました。かつて平成14年から19年の5年間お世話になり、ここで学ばせて頂いたことは、リハビリテーション医としての自分の基礎になっています。故郷に戻ったような懐かしさを感じる一方で、経験年数も増え、今度は求められることも多くなることに身の引き締まる思いも感じています。皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思えますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 連携医紹介



### みずの内科クリニック

院長 水野 康司 先生

昭和 55 年秋田大学卒業。厚生連平鹿総合病院で初期研修後、秋田大学大学院、同第一内科学教室を経て、秋田労災病院第二内科部長。所沢市市民医療センター内科医長に転籍後、平成 12 年にみずの内科クリニックを開院。

院長からの一言：

当院は地域に根差した「身近な医療」の提供を目的に開院しました。そのため開院当初から訪問看護・居宅介護支援の事業所を併設しております。外来診療は現在、常勤の私（消化器学会認定専門医）をはじめ、2名の非常勤医師（呼吸器学会認定専門医1名、循環器専門医1名）で内科専門クリニックとして、日曜・祝日を除く毎日診療を行っております。また、地域診療においては社会福祉士1名、看護師8名、准看護師1名、管理栄養士1名、ケアマネージャー3名（併任含む）の陣容をフル動員して癌疾患や神経難病・各種の重度疾患、緩和ケアにも十分対応できるよう努めています。平成25年度から当院は域内の2病院、5診療所と連携して「機能強化型在宅支援診療所（病床あり）」の指定を受けて、在宅診療の充実を図っております。昨年7月から本年6月まで12ヶ月間の当院単独での在宅看取りは36件、在宅看取り率は56%です。しかし、当院の在宅診療の目的は自宅で療養され、揺れる心を抱え苦しんでおられる患者さんとその家族を支援することが第一で、最期を迎える場にこだわっているわけではありません。そのため、多くの医療機関、介護施設との連携が最も重要であると考えて日々、職員と共に奮闘しているところです。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	×
午後 3：00～6：00	○	○	○	訪問	○	訪問	×

《外来休診日》日曜祝日 正月 お盆 （訪問診療は常時対応）

所在地：〒359-0041 埼玉県所沢市中新井 4-27-4

連絡先：TEL 04-2942-4100

ホームページ：http://www.mizuno-naika-clinic.com/



## 連携医紹介



### 医療法人社団 功和会

#### 理事長 平野 功

私たちは平成10年より、在宅医療を中心として“基本に忠実”をモットーに日々努力を重ねて参りました。

泌尿器科、訪問歯科、居宅支援事業所が力を合わせ確かな医療介護を提供しております。

### 《平野クリニック》

#### 標榜科 泌尿器科

当院のモットーは迅速、分かりやすい説明、的確な判断を行うことです。病気の診断は苦痛の少ない低侵襲性の検査を行っております。以前より泌尿器科は恐ろしくてちょっと受診は…？と言う方もたくさんいらっしゃいます。我々は皆様にご安心いただけますよう配慮をしております。高次医療機関によって出来る治療、出来ない治療があり、一つの施設ですべての治療が行えるわけではありません。患者様の状態に応じ、地域性を考慮し的確にニーズを判断した上で高次医療への紹介を致します。また、治療後は高次医療機関の方針に基づいて経過観察、治療の継続を行うことも可能です。午後の時間は比較的 時間が取りやすいので泌尿器科に関する悩みや心配がありましたらご相談ください。

### 《平野在宅ケアクリニック》

#### 院長 坂本 和英

これまで、入院でなければ受けられないと思われていたような医療も、医師の指示のもと、保険適用を受けながら生活の場で、生活形態にあわせて受ける事が出来ます。医師が定期的な訪問を行い、住み慣れた我が家で治療を受けることにより、患者様とご家族が共に生活するために生まれたのが「在宅医療」です。

平野在宅ケアクリニックは許認可を受けている「在宅医療支援診療所」で、定期的な訪問に加え当直体制を敷くことにより、24時間365日患者様のお宅に伺っております。

- 病気、けが等により通院が困難な方
- 退院後、継続して治療の必要な方
- ご自宅で終末医療を希望される方
- 自宅療養を希望される方
- 寝たきりのお年寄りの方

等の方が対象となります。まずはご相談ください。

在宅ケアクリニック専用電話：048-496-7117

## 連携医紹介

### 《平野歯科クリニック》 院長 河合 容子 歯科医師

訪問歯科診療には、外来診療で行っているような歯の治療や入れ歯の調整、歯周病に対する処置などに加え、肺炎予防のための口腔管理が必要です。訪問歯科診療は、一時的な対処では終われません。治療によって回復した機能を、継続的に維持・管理していくことが、訪問歯科の任務であると、わたくしたちは考えております

- 入れ歯の調整、作成、修理
- 虫歯治療
- 歯周病治療
- 全身疾患を有する患者の場合、主治医との対診等を行っております。

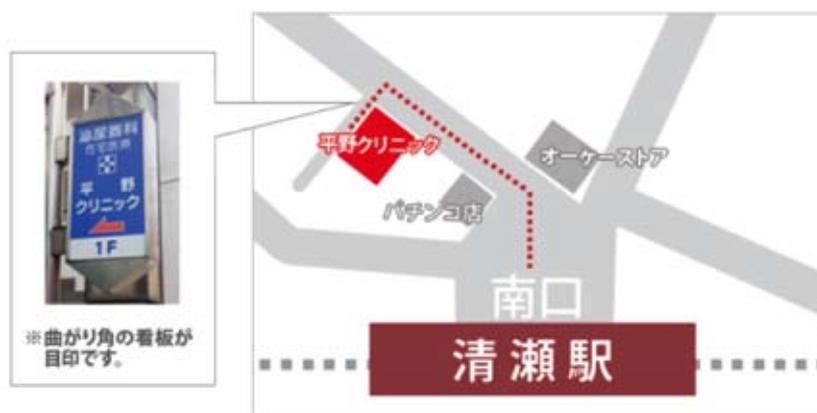
平野歯科クリニック専用電話：042-496-7158

《休診日》日曜祝日

所在地：〒204-0022 東京都清瀬市松山 1-4-20 松東ビル 103号

連絡先：TEL 042-495-7320

ホームページ：<http://www.h4.dion.ne.jp/~hiranocl/>



## 連携医の皆様へのお礼

地域医療連携部長 廣瀬 敬

連携医の先生方には、日頃より多くの患者さんをご紹介いただき有難うございます。当院では、昨年7月より午後2時まで初診患者さんを受け付けており、昨年10月より二次救急医療の受け入れを開始しました。また、本年7月より当院の診療体制を先生方に紹介するため、現在、連携医の先生方の訪問を行っております。訪問時には、お忙しい中、先生方には面会のお時間をいただき、また、多くの貴重なご意見をいただき大変感謝しております。幾つかの点のご意見に沿って早速改善いたしました。今後も患者さんや先生方から信頼される病院を目指し、地域医療に貢献してまいりますので、ご指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 「難治性喘息」 専門外来開設のお知らせ

喘息・アレルギーセンター長・副院長 庄司 俊輔

喘息・アレルギーセンターでは、このほど「難治性喘息」を専門に扱う完全予約制の外来を開設しました。「難治性喘息」という呼称は、一般に、「種々の治療を試みても改善の見られない、治療の難しい重症気管支喘息」と考えられていますが、当院での難治性喘息外来においては、「喘息の確定診断がついているにもかかわらず治療に難渋している場合」のみならず、「いろいろ治療を行っているが改善が見られず、喘息の診断が的確かどうかははっきりしない場合」についても詳しく丁寧に診療いたします。

医療機関の先生におかれましては、東京病院医療連携室（以下：医療連携室）にご連絡いただき、予約をお取りの上、診療情報提供書をあらかじめご送付下さい（仮 ID を作成しますので当日の診療がスムーズに行えます）。患者さんご自身からの予約も承りますが、かかりつけの先生がおありでしたら、診療情報提供書をお持ちの上、医療連携室にご相談下さい。

喘息についての一般的なご相談、診療については、診療情報提供書の有無にかかわらず、月曜から金曜の毎日、当番医が診療しますのでご来院下さい。

難治性喘息外来（予約制）：月曜日のみ

10～12時（大田院長）

14～16時（アレルギー専門医による交代制）

喘息・アレルギーセンター（当番医による初診）

月曜～金曜

受付 8時30分～14時

東京病院医療相談室（直通）042-491-2934（平日の8時30分～17時15分まで）

東京病院代表電話 042-491-2111

東京病院ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/index.html>

または

東京病院

検索



# 平成25年第1回東京病院市民公開講座

統括診療部長 小林 信之

本年度の第1回市民公開講座は、7月20日（土）、東京病院大会議室にて開催されました。猛暑の中の土曜日ということで、どれくらいの人に来られるのか心配していましたが、当日は110名の方にご参加いただき、会場は座りきれないほどの盛況となりました。まず大田院長の挨拶ではじまり、講演1では松井弘稔呼吸器診療部長より「ほんとうに怖い？ PM2.5 ー大気汚染と肺の話ー」と題し、PM2.5は大気汚染物質の1つで慢性閉塞性肺疾患（COPD）や喘息を悪化させ、肺癌や心疾患のリスクを増やすこと、国内のPM2.5は対策により減少傾向であるものの中国から飛んでくるものが増加する可能性があること、空気のきれいなところで暮らすのがよいこと、などを話しました。講演2では田中晃久内視鏡室長より「ピロリ菌と怖い胃の疾患」と題し、ピロリ菌はほとんどが免疫力の弱い5歳以下の小児期に感染が成立すること、ピロリ菌陽性の胃・十二指腸潰瘍は除菌治療の良い適応であること、除菌治療の成功率は95%以上であること、ピロリ菌を除菌することによって胃癌の発症を抑制することが出来ることなどを、内視鏡で見える動画をまじえてお話ししました。

やや手狭になった会場では、皆様が熱心に講演をお聞きになっている様子を見て、思わず胸にこみ上げてくるものがありました。そして、講演後の質疑応答も活発に行われ、盛会のうちに終わることができました。参加された皆様からご回答いただいたアンケートの結果を拝見しましたところ、東京病院のある清瀬市のほか、東村山市や東久留米市、埼玉県の新座市など、少し遠方にお住まいの方も多く来場されたことが分かりました。日頃、東京病院にあまりご縁のない方にも、当院のことを少しでも知っていただけたのではないかと考えています。また、講演テーマや時間設定等についても好評をいただき、96%の方が次回の開催を「希望する」と回答されました。主催した側として大変うれしい結果となり、心から感謝申し上げます。次回の市民公開講座は12月8日（日）に開催し、講演内容は当院の循環器科から「狭心症・心筋梗塞の予防、検査、治療」、泌尿器科から「排尿障害について」を予定しています。アンケートでは公開講座の内容、運営等について、貴重なご意見をいただきました。皆様のご要望にお応えできるよう、次回開催の計画をしておりますので、どうぞご期待ください。



## RST(呼吸サポートチーム)の活動について

5月30日(木)、第37回HOTの会(在宅酸素療法の会)を開催し、雨の中30人の患者さんやそのご家族がお集まりいただきました。最近話題の「PM2.5の恐怖」、「熱中症の予防」の講演を行い、後半は患者さん同士の交流の機会を作り、私たちも参加させていただきグループワークを行いました。健康づくりやHOT導入後困っていることなどで話が尽きず、時間が足りない位でした。HOTの会は、これからも在宅で生活される皆様を色々な形で応援していきたいと思えます。(作業療法士:松森 久幸)



平成25年6月15日(土)、第3回地域連携呼吸ケアの会が開催されました。あおぞら診療所(千葉県松戸市)の歯科衛生士山口朱見さんをお招きし、在宅医療の現場で行われている口腔ケアについてお話を伺いました。

また、東京病院で行っている口腔ケアを紹介し、入院中に介入した患者さんをどのように地域へ繋ぐか事例を踏まえて検討しました。口腔ケアに関する地域連携について考える良い機会となりました。(歯科医師:井関 史子)



## 東京病院のICTを紹介します

～東京病院内の活動部隊の中で最も古いチーム(平成12年の発足)～

感染管理認定看護師 松本 優子

ICTとは、インфекション (Infection 感染) コントロール (Control 制御) チーム (team) の略で、院内で起こるさまざまな感染症から患者さんや職員の安全を守るために活動を行う組織です。現在、Infection Control Doct 2名、Infection control Nurse 1名、細菌検査技師1名、薬剤師1名、医療安全係長、看護師長4名、放射線科技師1名、リハビリ主任1名、契約係長の計13名で『院内での新たな感染症の発生防止』と『万一想定以外に感染症が拡大した際、早期に察知し、迅速に対応する』ことを柱に横断的に病院全体の感染対策活動をしています。毎週1回定期的に会議を開催し、院内で感染症が起きたり広がったりしていないか、各専門分野の情報(検査データ・抗菌薬使用データ・感染が疑われる患者さんが入院していないか、状態や対策状況はどうか等)を持ち寄りメンバー間で共有しています。また、ICTは、院内で新しい感染対策を導入することも検討します。その際には、エビデンス(根拠)が明確なものか、導入することで現場の職員の業務効率が落ちないか、コスト面はどうか等の意見を交わしながら検討しています。さらに会議の後半の時間では、院内をラウンドして感染対策の順守状況も確認しています。

そのほかにも年間4回の全職員向けの研修を開催しており、その内容はDVDに収録し、勤務上どうしても参加できなかったスタッフに向け更に各2回追加上映研修をしています。毎回研修には、約200名の出席があり、立ち見もできる程で、職員の感染対策を学ぶ積極的な姿勢を見てICTメンバーはいつも感激しています。これからも東京病院に来られるすべての患者さんと職員を感染から守るために、地道に感染管理活動を継続していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

### 全職員向け研修会(平成25年9月)



## ～ 東京病院 電子カルテ等システム変更について ～

当院では、平成25年10月1日に、よりよい診療体制を確立するために、院内の電子カルテ等のシステム変更を実施致しました。

一時的な待ち時間の増加等が発生する可能性が想定されます。

ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

病院長

**診療内容 病床数560床**

- |   |                                  |   |   |
|---|----------------------------------|---|---|
| ○呼吸器センター  | ○喘息・アレルギーセンター                    | ○消化器センター  | ○総合診療センター                                     |
| ●呼吸器内科<br>●呼吸器外科<br>●リハビリテーション科<br>●放射線科<br>●緩和ケア内科 | ●アレルギー科<br>●眼科<br>●耳鼻咽喉科<br>●皮膚科 | ●消化器内科<br>●消化器外科<br>●リハビリテーション科<br>●放射線科<br>●緩和ケア内科 | ●総合内科<br>●循環器内科<br>●神経内科<br>●麻酔科<br>●臨床検査科    |
|   |                                  |   | ●整形外科<br>●リハビリテーション科<br>●泌尿器科<br>●放射線科<br>●歯科 |

**平成25年度「清瀬市健康診査」受付中です。**

〈実施期間〉 平日（月～金）及び第2・4土曜日

〈受診を希望される方は〉

当院は完全予約制となっております。ご希望の方は予約センターまでお問い合わせ下さい。

なお、受診の対象となる方にはあらかじめ清瀬市から「受診券」が郵送されますので、受診券が届いた方から予約をお願いします。

【予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日8:30～15:30】

**受付時間：初診 8:30～14:00 (消化器内科の月、金は12:00までの受付) 予約センター 042-491-2181**  
**再診 午前の診療 8:00～11:00 午後の診療 12:30～14:00 (受付時間平日8:30～15:00まで)**

**専門外来案内**

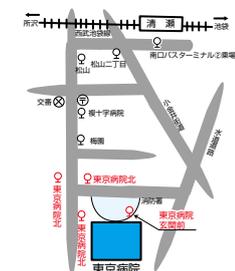
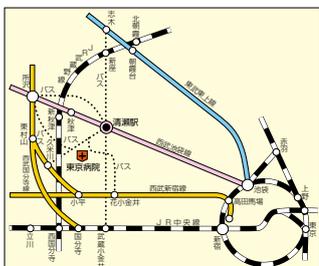
専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください	
禁煙 (予約制)	火(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)	
呼吸器 関係 外来	肺がんセカンド オピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,500円]
喀血 (予約制)	火(午後2時～)	咳をともなつて気道・肺から出血する状態を喀血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。	
間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合もあります。	
非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。	
いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など (要神経内科外来受診)。	
肝胆脾	金(午後)	肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

**医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合 (医療機関)**

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125 (8:30～15:30)

CT・MRI検査の申し込み: 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

**交通案内**



**交通**

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車で越しの際は正面よりお入り下さい。

(駐車場265台)  
 30分以内 無料  
 31分～4時間 100円  
 以後1時間毎 100円  
 (20時15分～7時 1時間毎300円)

**WEB検索**

東京病院

検索

